

会員の図書紹介

(本年に入ってからからのもののみ。値段はすべて税込)

○ 石田雄『一身にして二生、一人にして両身』岩波書店 06年6月 税込 2620円

○ 大西武将『ハチドリのおえずり——初老の発信活動から——』私家版 06年8月

○ 小熊英一『日本という国』理論社YA新書 06年3月 1260円

○ 小田実(D・キーン、T・ペブラーとの共著)『玉碎』岩波書店 06年9月 2835円

○ 小田実『人生の同行者——上田耕一郎×小柴昌俊・鶴見俊輔・小田実対談』新日本出版社 06年9月 1890円

○ 小田実(小森陽一との共著)『憲法九条を語る——日本国憲法九条は体をはって世界平和を護っている』五月書房 06年7月 630円

○ 小林直樹『平和憲法と共生六十年——憲法第九条の総合的研究に向けて』慈学社出版 06年3月 10500円

○ 小林直樹編『総合人間学の試み——新しい人間学に向けて』学文社 06年11月 2100円

○ 佐々木寛編『東アジア(共生)の条件』世織書房 06年3月 3360円

○ 島川雅史『増補』アメリカ東アジア軍事戦略と日米安保体制』社会評論社 06年7月

○ 白川真澄『どこが問題! 郵政民営化』樹花舎 06年3月 525円

○ 鶴見和子(服部英二との共著)『対話』の文化——言語・宗教・文明』藤原書店 06年2月 2520円

○ 鶴見俊輔(齋藤慎爾との共著)『サザエさんの昭和』柏書房 06年7月 1680円

○ 鶴見俊輔(監修)『平和人物大事典』日本図書センター 06年6月 18900円

○ 鶴見俊輔(加藤典洋、黒川創との共著)『日米交換船』新潮社 06年3月 2520円

○ 鶴見俊輔『回想の人びと』筑摩文庫 06年2月 798円

○ 花崎皋平『ビーブルの思想を紡ぐ』七つ森書館 06年2月 2100円

○ 古川純、山内敏弘、吉池公史(池田眞規、松尾高志、丸山重威との共編著)『無防備地域運動の源流——林茂夫が残したもの』日本評論社 06年7月 3360円

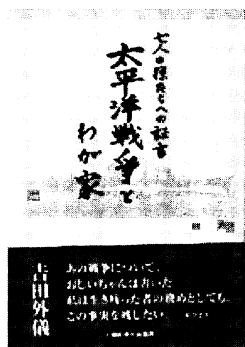
○ 堀孝彦『私注「戦後」倫理ノート』(有)港の人 06年3月 5250円

○ 水島朝穂『憲法「私」論——みんなで考える前にひとりひとりが考えよう』小学館 06年4月 2100円

○ 武藤一羊・島川雅史・天野恵一・池田五律・吉川勇一『今こそ日米(安保)同盟を問う!!』派兵チェック編集委員会 06年2月 500円

○ 安川寿之輔『福沢諭吉の戦争論と天皇制論』高文研 06年7月 3150円

○ 吉田外儀『太平洋戦争とわが家』七人の孫たちへの証言 増補ノート』私家版 06年8月



(注・この本は、04年8月に北国新聞社出版局から発行された『太平洋戦争とわが家』(写真上、1260円)

に追加する増補ノートで、2年前の本は、日本分史大賞 昭和の記録賞を受賞している。希望者は〒921-8815 石川県野々市町本町5 サーバス第2 503号 吉田さんへ。FAX 0176-246-2409)

○ ダグラス・ラミス『憲法は、政府に対する命令である。』平凡社 06年8月 1365円

○ ダグラス・ラミス(喜納昌吉との共著)『反戦平和の手帖』集英社新書 06年3月 735円